

【概要】

人類は多様な生物種が作り出す多様な分子化合物を含む生薬を見出し、医療に供してきた。この薬物知識は長い年月をかけて受け継がれ、伝承医療として形成されてきた。これらの伝承医療は近代科学によって、効能、効果が確認、証明されるとともに、活性本体化合物、含有成分についての分子的理解も明らかにされつつある。本講義は生薬に含まれる化学成分の基本的知識および医療における適正利用知識を修得することを目的とする。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による